



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月8日

東

上場会社名 大伸化学株式会社 上場取引所
 コード番号 4629 URL http://www.daishin-chemical.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀越 進
 問合せ先責任者(役職名) 経営企画室長 (氏名) 山口 利美 (TEL) 03-3432-5872
 四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	16,079	—	462	—	532	—	355	—
2023年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 388百万円(—%) 2023年3月期第2四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	77.75	—
2023年3月期第2四半期	—	—

(注) 2023年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率、2023年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	24,240	15,646	64.5
2023年3月期	24,392	15,441	63.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 15,646百万円 2023年3月期 15,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 2023年3月期期末配当金の内訳 普通配当 32円00銭 記念配当 8円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	35,000	1.8	1,260	0.5	1,310	0.2	840	△12.1

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う子会社の異動） : 無
新規 一社（社名） ー 、 除外 一社（社名） ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期2Q	4,592,000株	2023年3月期	4,592,000株
2024年3月期2Q	16,799株	2023年3月期	16,799株
2024年3月期2Q	4,575,201株	2023年3月期2Q	4,575,201株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報をもとに行った見込みであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

前第3四半期連結会計期間より、四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は省略しております。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行により、行動制限や海外渡航制限等も緩和され、外食・宿泊・娯楽等の経済活動の正常化が進んだことにより、緩やかな回復基調が見られるものの、長期化するウクライナ情勢等による資源価格の高騰、世界的な金融引締めや急速な円安進行により、景気の先行きは依然として不透明な状態が続いております。

当社グループが主として関連する塗料業界におきましては、こうした経済環境のもと、出荷数量は減少いたしました。

このような情勢のもとで、当社グループにおける当第2四半期連結累計期間の製品出荷数量は、66,304トンとなりました。

当第2四半期連結累計期間の業績といたしましては、売上高は、国内の原油・ナフサ市況が前年の第2四半期に比べて低水準で推移したことにより販売単価が下落したため、160億79百万円となりました。

主な品目別の売上高は、ラッカーシンナー類が3億73百万円、合成樹脂塗料用シンナー類が2億91百万円、洗浄用シンナー類が10億92百万円、印刷用溶剤類が29億50百万円、特殊シンナー類が16億76百万円、単一溶剤類が62億49百万円、塗料・その他が11億26百万円、単一溶剤を中心とした商品が23億5百万円、その他収入が14百万円となりました。

利益面につきましては、効率的な原材料購入の推進及び新規需要の開拓に努めましたが、一部の原材料価格の上昇や一般管理費の増加、さらに、運送費の上昇等があり、その結果、営業利益4億62百万円、経常利益5億32百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益3億55百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、242億40百万円(前連結会計年度末比1億51百万円減)となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加(同3億46百万円増)、電子記録債権の増加(同2億28百万円増)等があったものの、現金及び預金の減少(同7億80百万円減)等があったことによるものであります。

負債総額は、85億94百万円(前連結会計年度末比3億56百万円減)となりました。これは主に、電子記録債務の増加(同1億63百万円増)等があったものの、買掛金の減少(同2億81百万円減)等があったことによるものであります。

純資産は、156億46百万円(前連結会計年度末比2億5百万円増)となりました。これは主に、利益剰余金の増加(同1億72百万円増)等があったことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて7億80百万円減少し、41億71百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は、5億27百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上5億35百万円、減価償却費の計上1億84百万円等があったものの、売上債権の増加5億75百万円、仕入債務の減少1億17百万円、法人税等の支払額2億28百万円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、1億20百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2億13百万円、保険積立金の積立による支出1億21百万円等があったものの、保険積立金の解約による収入2億12百万円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、1億32百万円となりました。これは主に、短期借入金の純増額80百万円があったものの、配当金の支払額1億83百万円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の連結業績見通しにつきましては、2023年5月12日付「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表しました連結業績予想に変更はありません。なお、今後の経営環境等の変化により、連結業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,705,635	4,925,039
受取手形及び売掛金	8,398,855	8,745,759
電子記録債権	3,478,918	3,707,248
商品及び製品	226,431	268,599
原材料及び貯蔵品	918,768	886,224
その他	127,042	151,659
貸倒引当金	△1,188	△1,245
流動資産合計	18,854,464	18,683,285
固定資産		
有形固定資産	4,089,609	4,118,493
無形固定資産	82,268	75,336
投資その他の資産		
その他	1,386,741	1,384,085
貸倒引当金	△20,239	△20,239
投資その他の資産合計	1,366,501	1,363,845
固定資産合計	5,538,379	5,557,674
資産合計	24,392,843	24,240,960
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,731,002	4,449,620
電子記録債務	2,874,855	3,038,687
短期借入金	-	80,000
1年内返済予定の長期借入金	20,000	-
未払法人税等	253,220	199,806
賞与引当金	165,267	161,742
役員賞与引当金	40,000	-
その他	629,302	480,548
流動負債合計	8,713,648	8,410,406
固定負債		
役員退職慰労引当金	149,450	91,125
退職給付に係る負債	40,573	48,812
その他	47,441	43,872
固定負債合計	237,464	183,810
負債合計	8,951,112	8,594,216

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	729,000	729,000
資本剰余金	675,939	675,939
利益剰余金	13,867,917	14,040,609
自己株式	△12,519	△12,519
株主資本合計	15,260,337	15,433,029
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68,348	110,749
退職給付に係る調整累計額	113,044	102,965
その他の包括利益累計額合計	181,393	213,714
純資産合計	15,441,730	15,646,744
負債純資産合計	24,392,843	24,240,960

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	16,079,981
売上原価	13,796,244
売上総利益	2,283,737
販売費及び一般管理費	1,821,209
営業利益	462,527
営業外収益	
受取利息	166
受取配当金	15,292
保険返戻金	44,548
その他	19,100
営業外収益合計	79,108
営業外費用	
支払利息	381
手形売却損	353
支払補償費	7,822
その他	920
営業外費用合計	9,478
経常利益	532,158
特別利益	
固定資産売却益	5,203
特別利益合計	5,203
特別損失	
固定資産売却損	0
固定資産除却損	2,075
特別損失合計	2,075
税金等調整前四半期純利益	535,286
法人税等	179,586
四半期純利益	355,700
親会社株主に帰属する四半期純利益	355,700

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	355,700
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	42,400
退職給付に係る調整額	△10,079
その他の包括利益合計	32,320
四半期包括利益	388,021
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	388,021

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	535,286
減価償却費	184,432
売上債権の増減額(△は増加)	△575,234
棚卸資産の増減額(△は増加)	△9,624
仕入債務の増減額(△は減少)	△117,550
その他	△331,064
小計	△313,754
利息及び配当金の受取額	15,621
利息の支払額	△381
法人税等の支払額	△228,924
営業活動によるキャッシュ・フロー	△527,438
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△213,972
有形固定資産の売却による収入	7,177
無形固定資産の取得による支出	△6,038
貸付金の回収による収入	1,582
保険積立金の積立による支出	△121,540
保険積立金の解約による収入	212,040
差入保証金の差入による支出	△291
差入保証金の回収による収入	642
投資活動によるキャッシュ・フロー	△120,399
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	80,000
長期借入金の返済による支出	△20,000
リース債務の返済による支出	△9,552
長期未払金の返済による支出	△198
配当金の支払額	△183,008
財務活動によるキャッシュ・フロー	△132,758
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△780,596
現金及び現金同等物の期首残高	4,951,635
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,171,039

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

(セグメント情報等)

当社グループの事業は、化学品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)「新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り」に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。